

恋する川柳物語かわら版



其の三十二 第三十二回「恋する川柳」―【秋】は梨（話）

ふくらむ川柳編 ― の応募作品集です。恋する気持ちを詠む川柳「恋する川柳」秋編のお題は「梨（なし）」、『**梨（なし）**』**という言葉**を句に**詠み込む**というお約束でしたね。

今年も鳥取に、梨狩りでたくさんの方々が足を運んでくださったみたいですね。この時季になると、連日梨関係のお問い合わせが本当に多くて、連日結構まごつきながらお答えさせて頂いています。ここに勤めてから、いかに自分が地元の農産物のことをよく把握していないか痛感するばかりです。先日は、「なつひめ」がさっぱり分かりませんでした。同じく新品種の「新甘泉」は食べたこともありますが：種類が増え過ぎだで〜（泣）。さらにさらに、つい先日地元の新聞で、初めて二十世紀梨の原木を御神体にお祀りしている神社「木乃実（このみ）神社」という神社があることを知りました。ビックリ！ビックリ！！驚きの梨ワールドです。鳥取の梨をどうぞこれからも愛してやってくださいね♥

ってなことで、ほな、今日もぼちぼち見てつかあさいな。

【応募作品一覧】

◆ 幼い日 コスモスに似た 淡い恋（P・N琥珀）

◆ 梨食えば 縁も深まる 秋日和（P・Nむこう）

◆ プロポーズ セよと梨狩り 合図する（P・N則くん）

◆ 名産の 梨を目当に 家族連れ（鳥取市）

◆ 梨かじる 白き歯まぶし 恋予感（P・Nたかぼこ）

◆ 見るものを 笑い話に 変える恋（P・Nタンポポ）

◆ そばにいて もっと知りたい 話したい
（P・N銀にいちゃん）

◆ 梨送り 仲とりもつも 返事無し（P・N次男坊）

◆ 君と僕 1つの梨と にらめっこ（P・Nワタミツ）

◆ 好きだから 話し方まで 真似をする（P・N鬼小町）

◆ 年老いて 会話も弾む 介護話（P・Nよつは）

◆ あの二人 はなし（話）はすでに ついており
（P・N小星）

◆ 恋に落ち 旅行のつもりへ ラ・フランス（梨の仲間なので）（P・Nニヨッキ）

◆ 梨を食べ あなたと笑顔 いつまでも（P・N花月）

◆ 梨狩りに 誘い射止めの 準備する
（P・N京のみっちゃん）

◆ あなたとの うまい話は なしだけに（P・N木立慈雨）

◆ 当たられて いなした恋を 追いかける（P・N琴音翼）

◆ 貴方って 水も滴る 梨のよう（P・N竹子デラックス）

◆ 将来の 話しのさなか プロポーズ（P・N春爺）

◆ 心なし 父に似ている 彼に恋（P・Nバディトム）

◆ 好きなのに 梨の礫の 片想い（P・Nおさぼう）

◆ 梨狩りが 愛を繋いで 三十年（P・Nあおい）

◆ 恋すると 秋風の中 心飛び（P・N西宮のフーコー）

◆ メールして 梨のつぶても 慣れました
（P・Nよったんぼうや）

◆道の駅 話しかけから 恋芽生え（P・N臨海和笑）

◆梨食べて 二人で恋の いい話（P・N酒乱Q）

◆もうあなた 無しの人生 なんてない（P・Nみちんこ）

◆梨狩りで 同時に触れた 指にドキッ！
（P・Nかすみ草）

◆なし崩し 妻に財布を 握られる（P・N駒ヶ根権兵衛）

◆初恋は 二十世紀の セピア色（P・Nらくちゃん）

◆もう歳や 相手を見つける 策はなし
（P・N大和の雨蛙）

◆紅葉に 負けぬ想いの 色をつけ
（P・N孫竹（そんちく））

◆話尽き ただ見つめ合う 初デート
（P・Nクレヨンじいちゃん）

◆梨をむく そんな家内に 惚れ直し（P・N澄海）

◆食べごろの 張りと色合い 今はナシ
（P・N朝霞の大三元）

◆Love・Pear やがて2人は ペアレント
（P・Nお酢）

◆プラチナの 梨地にダイヤ 愛を込め（P・N岩窟王）

◆悲しみも 会えば喜び それだけで（P・Nせんちゃん）

◆旅人に もぎたて梨で おもてなし（P・N狼と羊）

◆うるおいは 梨の雫と 二人連れ（P・N曲者）

◆あなたへの 想いは今も 変わりなし（P・Nおーさん）

◆お土産は なしでいいのよ あなただけ
（P・Nまるちゃん）

◆子らが居て なしのつぶての メール打つ（P・N仁）

◆梨もなし メールもなしで あなた待つ
（P・Nみよちゃん）

◆愛してる 恋してるだとか なしの日々
（P・Nなみちゃん）

◆プロポーズ 愛はあるけど 指輪なし
（P・Nやじろべー）

◆婿かもと 心込めての おもてなし（P・N角 奈緒也）

◆梨食べて 恋の雫が 溢れ出す
（P・N働き蜂ちえちゃん）

◆片恋の はぐれたまんま 梨の箱（P・Nぶちの白馬）

◆みずみずしい 二十世紀の ような恋（P・N銀河伝説）

◆夢ならば あんなに話した はずなのに（P・N福期待）

◆君と行く アポ無し旅の 島めぐり（P・N高木 流星）

◆恋文へ 結婚の語が 書いてなし（岡山市）

◆ひらがなの 風がささやく 恋い話し（岡山市）

◆婚活は かわはら土産で 外れ無し（P・N慎ちゃん）

◆梨食いて 故郷の秋を 思い出す
（P・N金砂郷の鴨ちゃん）

◆愛してる 彼の実家は 梨農家 (P・Nよし得)

◆梨畑け 悲恋の数多 知る蛙 (前川 稔)

◆好き！嫌い！ ごめんなさいね コスモスさん
(P・N八十日目)

◆逢ったのに なしのつぶてで 去ったひと
(P・Nはぐれ雲)

◆落葉に 恋の行方の 予感して (P・N土呂小町)

◆秋夜長 女ごころを 測りかね (P・N氷川の杜)

◆梨食べて 程よく冷やす 夏の恋 (P・Nさなえ)

◆恨みっこ ナシで別れる 筈でした (P・N海峡ちどり)

◆北の恋 残り火煽る ナナカマド (P・N茜雲)

◆梨園より 嫁ぎたいのは 梨農家 (P・Nおよよ)

◆頬いっぱい 梨に隠れる 孫の顔 (P・Nやまちゃん)

◆君と梨 五感うるおし 愛芽生え (P・N遠夢乞D)

◆立候補します 指輪が なしならば (P・N吉備彦)

◆後腐れ なしにしようと 削除する (P・N P O N 5)

◆カップルを ストーカーする 赤とんぼ
(P・Nナッツとピュア)

◆恋ごころ 梨を重石に 置き手紙 (P・Nえちご人)

◆梨むけば 子を取り合って 親はナシ
(P・Nティカリン)

◆紅葉萌え 恋するひとみ ハラハラと (P・Nノリピー)

◆室生寺に 二人並んで 秋さがし (P・Nれんこ)

◆秋夜長 親しき友と 艶話 (P・N澤 磨育)

◆お隣に 梨さしいれて 茶をよばれ (P・N花咲き夢子)

◆初恋が 友へ気移り なし崩し (P・N初恋)

◆横恋慕 軽くいなして 添い遂げる (P・N尼の政爺)

◆恋に落ち 紅葉 (もみじ) も 重なり合う季節
(P・Nすみれ)

◆君が剥く 梨の皮さえ 愛おしい (P・Nふわりねこ)

◆君に逢え ぼくの心は なしくずし (P・Nどんぐり)

◆遠恋に なしのつぶては 罪つくり (P・Nみつぐ)

◆美味しい梨 作るは上手いが 恋はなし
(P・Nおじゃすか)

◆拳骨を 振り上げる師に 恨み無し
(P・Nクンタ・キンテ・ジャパン)

◆白い歯が がぶりと梨と ハート噛む (P・N吞ぶら子)

◆梨食べた 甘い吐息に 許すキス (P・N和代)

◆とろけちゃう 一途な恋は まるで梨 (P・N上原 稔)

◆告白で カラカラの喉に 梨甘し (P・N八木進)

◆ラフレター なしのつぶてに 打つ手なし
(P・N畑耕作)

◆新婚の 気分裂の 瑞瑞し (P・Nクジラ)

◆告白を 台無しにする 腹の虫 (P・Nピコタン)

◆しゃきしゃきと 歯切れが良いね 君と梨
(P・Nみゃんくん)

◆一目惚れ 紅葉するなら あなた色 (P・N紫よん)

◆空っぽな 心震わす こいなしー (恋無っしー)
(P・Nとりびあの)

◆歯無しには ならぬと言った 母8020 (P・N策々)

◆梨を見て 秋より先に ゆるキャラが
(P・Nおもろ太郎)

◆ペアルック 買って着たいが 度胸なし
(P・Nのんのん)

◆あふれ出る 梨の果汁と 恋心 (P・Nジュワジュワ)

◆君の肩 そっと触れるや 赤とんぼ
(P・N長男ヒロタン)

◆名月に 2人行く先 見透かされ (P・N青メダカ)

◆おもてなし? うらはあったよ 我が家には (吹田市)

◆神神も 鳥取梨を 提げ出雲 (兵庫県)

◆悲しみを 月の兎に 癒される (P・N矢車草)

◆天高く 齧ればジュシー 梨の香が (瀬戸内市)

◆ゲンかつぎ 梨を有りの実と 呼ぶ地方あり
(P・N明拓)

◆勘違い 秋の果物 ふなっしー (P・Nふあのん)

◆瑞々しき 薫る思春期 恋話 (P・N白梅)

◆成しとげし この梨に勝る 味は無し (P・Nヒメ父)

◆梨送り 愛してるよと 礫待っ (P・N充兵衛)

◆義務のように デートをこなし 倦怠期 (P・N紫苑)

◆梨狩りの デートでふられて 渋いなしに
(P・Nよこちょ)

◆梨の花と 呼ばれし君に 恋をして (P・N松の実)

◆梨食 (は) みつ 昔語りや 歯無しジジババ
(P・Nこうちゃん)

◆けなしあい いつの間にやら 恋仲に
(P・Nきんちゃん)

◆今夜なに?、サンマと梨に、胸躍る (P・N4人のパパ)

◆おもてなし する人もなし 暇もなし
(P・N完熟きのこ)

◆老いらくの 恋は枯葉の ラブレター (P・N船岡五郎)

◆完熟は まだ選ばない 梨と恋 (P・Nチデンシンヤ)

◆梨を食み 祖母が初恋 語りだす (P・Nだー)

◆好き好き好き 言わなきゃ卒業 待ったなし
(P・Nザノピス)

◆会いましょネ なして嘘つき 気を持たす
(P・N暮色の天使)

◆ここだけの話しと言えは すぐ回り (P・N オウム)

◆燃えてます もみじも君も 恋の秋 (P・N ふっきー)

◆待ち合わせ 風まで甘い 梨畑 (P・N かたおもい)

◆古希迎え わたしの想い なしくずし
(P・N たっちゃん)

◆失恋の 和だけ落ちた 散り紅葉 (P・N ミール)

◆梨を手に 家来てくれた 初の恋 (P・N 梅尾芭蕉)

◆底なしに あなたに惚れた 僕がいる (P・N もりとん)

◆定年の 祝いに洋梨 贈られる (P・N 湯たんぽ)

◆秋深く 大人の恋の 色となる (P・N かきくけ子)

◆宛名なし 恋文返送 ふがいなし (P・N かとゆき)

◆青み抜け 円熟の恋する 紅葉 (P・N せちい)

◆頑張れと 母の文には 書いてなし (P・N カトレア)

◆もうわたし あなたなしでは 暮せない (P・N 習作)

◆さわやかに 告白された 梨の頃 (P・N カトレア)

◆梨の皮 きれいに剥ける 君に惚れ (P・N るなはん)

◆返事なし 既読で分かる 子は元気 (P・N ヒデヒデ)

◆僕とパパ ママに内緒の 話増え (P・N あーさま)

◆食えるだけ 食ってトンずら そりゃなしよ
(P・N 蛙屋 柳斎)

◆秋の夜 恋の話で 盛り上がる (P・N ねこママ)

◆いい話らしいね 幸せのオーラ (P・N かぐや姫)

◆太っても 私のキモチに 変動なし (P・N まるちゃん)

◆アリナシは 付き合ってから 決めてくれ (P・N まる)

◆秋の日は 離れたくないと 叫んでる
(P・N 昔のおじさん)

◆秋風が 吹いても熱い 恋心 (P・N マロン)

◆梨つめる その身のこなし 一流よ (P・N とうふ)

◆その話 ゆうべ聞いたと 孫は逃げ (P・N ニ三子)

◆どっしりと 座っています 梨ひとつ (P・N 雪子)

◆恋してる 梨もハートに 切ってみる (P・N こぱんだ)

◆木枯らしに ふたりで歩む 恋の道
(P・N ラッシュアワー)

◆溢れだす 梨の果汁と 恋心 (P・N いもねーちゃん)

◆秋の夜の 一番星に 願い込め (P・N 小林番茶)

◆移りあう 君と僕との 話し方 (P・N 鼓吟)

◆ハロウィンの 仮装でそっと 手を握り
(P・N 橘 舞衣)

◆落ちる葉が 君に贈った 髪飾り (P・N 相澤 竜次)

◆話し下手 私の沈黙 聞く人よ (P・N ちよろ)

【番外編】

◆ こっち来い そんなこいでも 恋のうち

(P・N 木立慈雨)

◆ 初恋は 執恋になり 終恋となる(P・N いちごちゃん)

◆ そのイイね 好きと解釈 してる俺(P・N 銅男)

◆ 大声で 泣ける理由は あなただけ(P・N カナ)

◆ まちぶせが 時代遅れの 俺に合う(P・N ふじさん)

◆ 「愛してる」 処方より効く いいクスリ

(P・N ミニロック)

◆ 今どこに 第二ボタンと おさげ髪(P・N ナフタリン)

◆ 『好き』と言う！ 最強に効く おまじない

(P・N きみどりさん)

◆ 初恋で 生涯閉じる キリギリス(P・N しめじ飯)

◆ 百歳へ やっぱり君が 好きと言う(P・N 名残)

◆ 勇気だし 伸ばしたその 空を切り(P・N タクノ)

◆ 本気なら 駆け引きなんて してられない

(P・N こにげ)

◆ ぷちぷちと あま〜く弾ける 恋心

(P・N すふいんくす)

◆ 恋すれば 朝昼晩も 恋恋恋(P・N やちん)

◆ 君を見て 月と一緒に 赤くなり(P・N ゆうと)

◆ 今日あると 薬指まず うふふ笑み(P・N ゆーさん)

◆ あの人の 夢にも私が 出るのかな？(P・N ピノコ)

◆ 恋心 お百度踏んで 実らせる(P・N 京のみっちゃん)

◆ まだ僕は 君の全てに 惚れている(P・N 小田慶喜)

◆ 少しだけ 欠点のある 君が好き(P・N 小田和子)

◆ 鳥取の 恋人買いに かわはらに(P・N ひろっさん)

◆ 体育着で ミキシングする 恋ダンス

(P・N のろまのろまん)

◆ 高き空 流るる雲と 君想う(P・N まるちゃん)

【特別賞】

◆ 女子の旅 恋の話で 夜は更ける(P・N 枕投げ)

◆ 《一言》逆に男の旅って、何話すんだろ？気になる〜

ろくでなし ばかりを好きに なる不運

(P・N さくら子)

◆ 《一言》「誰」とは言いませんが、本当に不思議なもので。

恋に歳 無しと言いつ切る 妻怪し(P・N もくず)

◆ 《一言》いつまでも若くありたいものです。色々と♥

はぁ兔ちゃん ふなっしーには なびかない

(P・N 小鼓)

◆ 《一言》ゆるキャラのお見合い企画：ありかも！？

おとなしい 嫁が子を産み 強くなる(P・N 老虫)

◆ 《一言》弟の嫁はますます強くなりましたけどね(苦笑)。

おもてなし うらもなし だから君が好き

(P・N たかさま)

◆ 梨をむく 皮の厚さに 彼女照れ(P・N ヒデじい)

◆ 《一言》照れるのが可愛いですよ。私は開き直り派♪

◆ 神無月 信頼なっしー 恋みくじ(P・N コイノミクス)

《一言》そんなわけ…十月のおみくじはぜひ出雲で(笑)。

◆デパ地下で 彼女と秋を 丸かじり(P・Nたまりゅう)

《一言》秋のデパ地下って、なんだかとっても魅力的♡

◆壁ドンも するり抜けられ 立つ瀬なし

(P・Nちいじじ)

《一言》「壁ドン」かあ…ないなあ。会社休んでいい？

※以上十名様には秀句として、鳥取県智頭町在住のイラストレーター澤田直見さんの田舎暮らしから生まれた素敵なメッセージが散りばめられた「うさぎとかめのふたりごと」絵はがき3枚セットをお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかった次の三名の方の作品も、プチ特別賞としまして、ケヤキ製のしおりをお届けします。

◆梨もぎで 手と手触れ合う 初デート

(P・Nハナとミル)

◆枯葉踏む 二人の足音 会話する(P・N首りんちゅ)

◆頬染めて 2人見つめる 田の案山子

(P・Nチユン子すずめ)

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、一句のみ掲載させて頂いております。悪しからずご了承ください。また、作品にペンネーム(P・N)の付していないものについては、宛先のみご紹介させて頂いています。

また、抽選の結果発表については、発送をもって代えさせて頂きます。今回の【冬】「恋する川柳」編は十二月に募集しますので、お見逃しなく☆

by. KISAKI HIMEKO
(郷土神話観光
コーディネーター
☆)

この秋の川柳にも時々登場していた「ふなっしー」ですが、道の駅清流茶屋かわはらでもついに！マスコットキャラクターがお目見えすることになりました～(^^) 昨年の一般公募で決定したところだったのですが、こんなにも駆け足で着ぐるみまで完成できてしまうとは…言い出しっぺの企画者もビックリなっしー!! (もういいって。苦笑。) 来年からまた忙しくなるっての(-_-;) いえいえ、ありがたい限りです。11月終わりの三連休には、新キャラ『はぁ兎(と)ちゃん』の着ぐるみお披露目会がありますので、またレポートしま～す📖

「地域の学び舎・水辺の学縁マスコットキャラクター」の決定について

現在、道の駅清流茶屋かわはらでは、より地域に根付いた道の駅を目指すため、地域と地域、人と人との縁を広く結んでいく「地域の学び舎・水辺の学縁」プロジェクトを進めています。「地域の学び舎・水辺の学縁」では、ものづくりを学ぶ「ゆるゆる田舎塾」や社会見学ツアーが中心の「いなばスローツーリズム交流会」など、5つのプログラムを計画しています。そこで、「地域の学び舎・水辺の学縁」が、教室やツアーを通じて地域の人材や観光資源の魅力を地域内外に発信し、より親しみやすい交流の場となるよう、このたび学縁のアイドルとして活動を一緒に盛り上げてくれるマスコットキャラクターが決定いたしました！今後は、「地域の学び舎・水辺の学縁」のマスコットキャラクターとして採用し、学縁のアイドルとして、広報紙やホームページ、イベントなどに活用してまいります。

作品の説明

縁結びをイメージして作った女の子です。着物の水色の模様に混じってうさぎがいます。そのうさぎが幸せを運んでくれる様子を描きました。千代川の川の流れに縁結びの女神の八上姫、因幡の白うさぎ、すべての要素が上手に取り込まれていた点が採用ポイントになりました。愛称については、女の子のチャームポイントのひとつになっているハートの髪飾りに着眼したものでしたが、多くの人々の縁結びの役目を担う女の子が、これから広く皆様に愛されるキャラクターとなっていくようお願いが込められている点を評価させて頂きました。



はぁ兎ちゃんです。
よろしく願います！

